

# 意見書

たけのこ保育園 園長殿

園児名 \_\_\_\_\_

病 名 \_\_\_\_\_

年 月 日から症状も回復し、集団生活に支障がない状態になったので登園可能と判断します

年 月 日

医療機関 \_\_\_\_\_

医師名 \_\_\_\_\_ (印)

※意見書は、HP からダウンロードできます

## ●登園を再開するときに、「意見書」が必要な病気

病名	感染しやすい期間	登園のめやす
① 麻疹(はしか)	発症 1 日目から発しん出現後の 4 日後まで	解熱後 3 日を経過してから
② インフルエンザ ※注	症状がある期間(発症前 24 時間から発病後 3 日程度までが最も感染力が強い)	発症した後 5 日を経過し、かつ解熱した後 3 日を経過するまで
③ 新型コロナウイルス感染症 ※注	発症後 5 日間	発症した後 5 日を経過し、かつ症状が軽快した後 1 日を経過すること ※無症状の感染者の場合は、検体採取日を 0 日目として、5 日を経過すること
④ 風疹(三日はしか)	発しん出現の前 7 日から後 7 日間くらい	発しんが消失してから
⑤ 水痘(水ぼうそう)	発しん出現 1~2 日前から痂皮形成まで	全ての発しんが痂皮化してから
⑥ 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	発症 3 日前から耳下腺腫脹後 4 日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから 5 日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
⑦ 結核		医師により感染の恐れがないと認めるまで
⑧ 咽頭結膜熱(プール熱)	発熱、充血等症状が出現した数日間	主要症状が消え 2 日を経過してから
⑨ 流行性結膜炎(はやり目)	充血、目やに等症状が出現した数日	感染力が非常に強いため結膜炎の症状が消失してから
⑩ 百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後 3 週間を経過するまで	特有の咳が止まるまで又は 5 日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
⑪ 腸管出血性大腸菌感染症(O157、O26、O111 等)		症状が始まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48 時間をあけて連続 2 回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
⑫ 急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から 1~2 週間、便から数週間~数カ月排出される	医師により感染の恐れがないと認めるまで
⑬ 髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認めるまで

注) 現在、インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症は、通知書にて対応しています

## ●新型コロナウイルスの対応

学校保健安全施行規則に準じて、新型コロナウイルス感染症の出席停止期間の基準は、「発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで」となっています。再登園するに当たって改めて「治癒したかどうか」「検査結果の陰性」について医師等の診察を受ける必要はありませんが、症状が続く場合等、心配がある場合は医師の指示に従ってください。

なお、発症日から10日間は感染の恐れがありますので、出席停止期間の基準を満たした場合でも、登園する際は感染症対策にご協力をお願いします。

## ●感染症流行時の対応

保育園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐだけではなく、一人一人の子どもが一日快適に生活できる事が大切です。保育園児がよくかかる下記の感染症については、登園のめやすを参考に、かかりつけの医師の診断に従い、保育園での集団生活に適應できる状態に回復してから登園するよう、ご配慮ください。

☆医師の診断によって、登園可能な病気 ※全て医師の指示があるまで、お休み下さい。

	病名	感染しやすい期間	登園のめやす
①	溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24~48時間経過していること
②	マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
③	手足口病	手足や口腔内に水泡・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
④	感染性紅班(りんご病)	発疹出現前の1週間	全身状態が良いこと
⑤	ウイルス性胃腸炎(ノロ・ロタ・アデノウイルス等)	症状のある間と、症状消失後1週間(量は減少していくが数週間ウイルスを排泄しているので注意が必要)	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
⑥	ヘルパンギーナ	急性期の数日間(便の中に1ヶ月程度ウイルスを排泄しているので注意が必要)	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
⑦	RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
⑧	帯状疱疹	水泡を形成している間	すべての発疹が痂皮化してから
⑨	突発性発疹		解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと
⑩	伝染性膿痂疹(とびひ)	効果的治療開始後24時間まで	皮疹が乾燥しているか、湿潤部位が被覆できる程度のものであること
⑪	アタマジラミ	産卵から最初の若虫が孵化するまでの期間は10日から14日である	駆除を開始していること